

# 東由利村報

No. 90

1964・11・20

発行 東由利村役場  
編集 畑山伝二郎  
印刷 KK本間印刷所

## 功労者顕彰・表彰式 自治功労章贈呈式 感謝状贈呈

本村では文化の日の11月3日午前10時から役場で、功労者顕彰、表彰式、自治功労章贈呈式、並びに感謝状の贈呈を行った。

顕彰、故小松亮太郎氏  
役場前に顕彰碑を建て当日除幕式を行った。

安政4年3月4日生、昭和5年1月23日逝去。

旧下郷村長、明治26、7～38、7大正3、5、6。

旧下郷村会議員、明治22、4～31、4。明治43、4～大正5、6。大正10、4～昭和4、4。

昭和36年11月3日、東由利村表彰条例により功績章を贈り表彰人名簿に登録し、昭和39年11月3日顕彰碑を本庁舎前に建立す。

顕彰碑々文  
翁は、秋田県会議員及び下郷村長等、県村の要職を歴任し、實に四十有余年の間地方自治の發展に尽され、その間、特に県道本庄横手街道（現国道大船渡本庄線）開

設については、県会議員猪股三保三、大日向作太郎の両氏と相計り献身的な努力によって、明治29年にこれを完成し、今日の村發展の基盤を確立したのである。よってこの偉業を後に伝えるため東由利村表彰条例に基づき、功績章を贈って表彰し、ここに顕彰碑を建立する。

表彰、故小松盛藏氏  
明治18年9月26日生、昭和22年11月25日逝去。

旧玉米村長、大正11、9～13、10大正12、12～昭和4、11。昭和9、2～17、5。

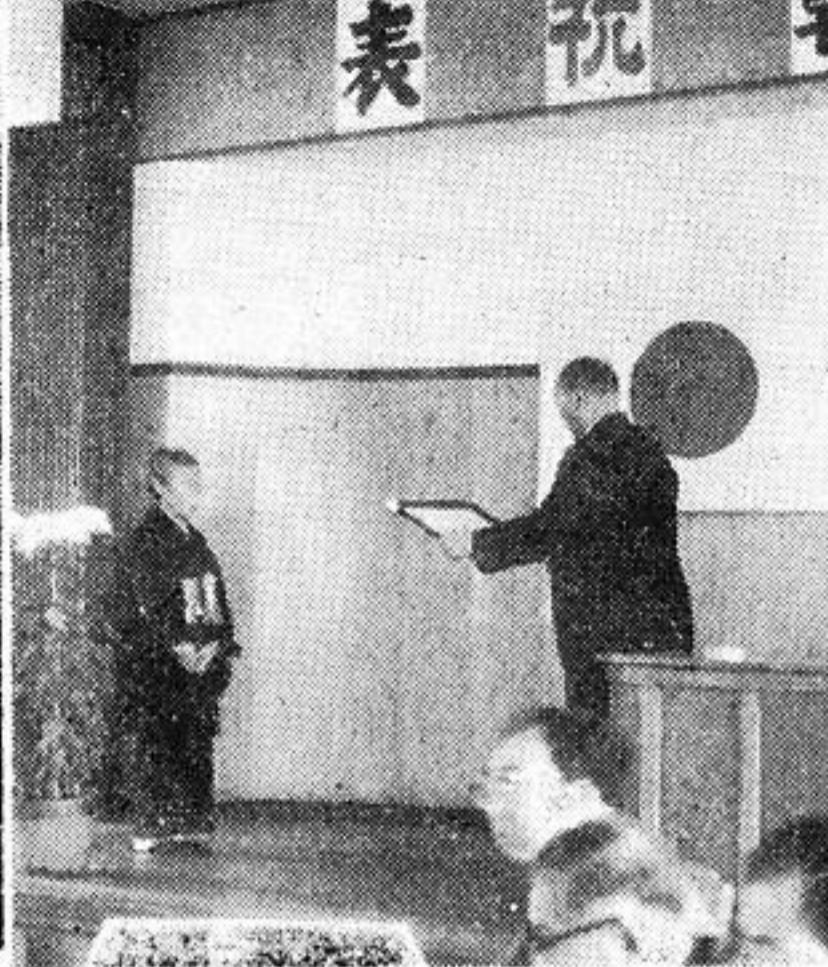
大正11年9月玉米村長に就任し、以来4期15年にわたり、村自治發展のために尽力され、この間とくに産馬改良に意をそそぐ等畜産業の振興、あるいは、村有林野の整備、植林事業の推進による村有財産の造成につとめられ、地方産業の振興に多くの業績をのこされた自治功労章贈呈者



故 小松亮太郎氏



故 小松盛藏氏



### （前村会議員）

畠山忠太郎、24年。田代寿治、16年3月。遠藤孫助、17年3月。小野廣志、13年3月。大沼一広、13年1月。高橋重助、9年3月。畠山正、8年。畠山富男、8年。

### 感謝状贈呈

故猪股三保三殿  
本荘横手街道の開設に当り、小松亮太郎氏等と相計り、これが実現のために献身的努力された。

### 故佐藤文助殿

村議會議員として在職7年余、この間、とくに黒淵へき地診療所の開設、産業教育施設の整備、辺地社会の開発向上に努力された。

### 長谷山理一郎殿（老方郵便局長）

本村通信機能の整備拡充にたゆみない努力をいたされ、電話施設設備の改善を推進し、とくに奥地無電話部落の解消に力をつくされ村内全部落に行きわたる電話網を完

成された。

### 猪股勘一郎殿

基幹林道軽井沢線の開設にあたり多額の寄附をなされ、本事業の促進に貢献された。

### 佐藤与吉郎殿、小松米殿

本村村道大下橋架替工事に対し多額の寄附をなされ、事業の促進に貢献された。

### 畠村部落殿、杉森部落殿

大下橋架替工事にあたり、一致協力して多大の金品と労力を提供された。

### 歳末たすけあい運動

明るく楽しいお正月を迎えることが出来るよう「歳末たすけあい運動」をはじめて村内の生活に困る人、病氣で療養している人、施設にはいっている人など色々生活に困っている人、不幸な人々の為に、本村でも全国運動に歩調を合せてこの運動を始める事に致します。12月始めには部落長を通して各家庭に同情袋をおくばり致しますから、よろしくご協力下さいますようお願い致します。（住民課）

## 全部落に文化のひかり

### 善徳・八塩開拓農家に電気入る

無電灯部落の人達はもとより、村での多年の念願であった無電灯部落の解消が幾多の困難を乗りこえて、ついに達成された。

条件に恵まれず最後まで取残されていた八塩、善徳の両部落に対する電気導入工事は、10月21日より始められ、11月12日に完工、即日送電したので、始めて全村くまなく文化のひかりがかかるやくことに

### 39年度電気導入事業

部 落	戸 数	事 業 費	完 工
善 徳	3	1,043千円	10・29
八 塩	3	655	11・12

## 北海道に米を送ろう 冷害農民救済に立ち上る

去る10月4日から9日まで、農協中央会理事として北海道農協視察団に加わり、各地を視察して来た村長は、全道にわたる冷害凶作の惨状に痛く心を打たれて帰ったが、今回村民の強い支持を得て、次の方によって義援米を送ることになった。

- ①各戸に趣意書をくばる。
  - ②農家は米1升以上、非農家は百円以上の応募を期待する。
  - ③増産班長が集め、農協で包装して早期に送り届ける。
  - △北海道の冷害農民を救おう
- ことしの北海道の冷害により、稻も畑作も全滅といわれ金額にして572億円という大被害を受けました。全国的に史上最高の豊作だとうたい声のする時、北海道だけがきびしい冬をむかえて越冬準備もできず、また冷害のためにこれ

からの生活に自信をなくした農夫が幼い子どもを道づれに一家心中をした事件もあるとテレビ、ラジオ、新聞などで報道されております。私達は、このような悲劇を他山の石のように見てはいられません。豊作だと喜んでいた私達は、北海道の冷害農民のためにせめて一食でもあたたかい御飯を差上げたいと存じます。

右趣意ご観察下されつぎにより義援米を募ることにしましたので村内の方々の厚い御同情をおねがいします。

記

○農家1戸  
当たり1升



以上の義援米を出して下さるようお願いします。

- 義援米は部落の増産班長さんが集めに参りますから御協力下さい。
- 収まとめた義援米は、新聞社を通して北海道に送ることにします。

### 宿小学校児童よりも義援米

11月19日宿小学校5年生代表、佐々木秀雄、大庭喜一郎、佐々木喜隆の3名は、北海道に送るため、白米5升に次の手紙をそえて役場に持参、その純情に村長以下強い感動に打たれている。

村長さんへ  
私たち北海道の冷害に東由利村が先に立ってお米を送る運動をしていることを新聞で知りました

そこで私たちが理科の勉強で作った米も一緒に送りたいと思い学級会で話し合ったら、みんなせいでしたのでわざかで

すが送って下さい。

この米は佐々木君三さんの田を借りてみんなで一生懸命つくったものです。あとでライスカレーをしようと思っていたのですが北海道の友だちにおくることにしたのです。

定期家畜市場

認定候補牛（基礎雌牛）を除い

た場合雌雄の平均価格はほぼ同じであり、これ

	出場頭数	最高	最低	平均
雄	30	44,000	21,000	27,843
雌	38	60,200	17,100	30,395
計	68			29,269

（売上総額 199万300円）

からの和牛飼育経営は肉牛としての考へを持たなければならぬ。



### 村議会議員・道路視察



10月29日村議会議員全員は村長と共に村道の現況を視察した先づ沼部落までの道路を見て8月中から始めている国営の地すべり防止工事の調査情況の説明を聞いたそれによると甚だしい所では、地盤の移動が年間5メートルにも及ぶところがあるとのことであった。従ってこれはおそらく大工事になるそうです。

一日も早く北海道につくようにお願いします。

11月19日、宿小学校5年生一同

### 本年産米売渡好調

豊作に恵まれて今年の米の売渡しは極めて順調である。

### 早場米3期末比較

昨年 28,048

本年56,073 約2倍増



### 昭和39年産米売渡状況 (単位俵)

農協別	(第1期) (第2期) (第3期)			
	9月30日	10月10日	10月23日	1月31日
東由利	1.432	4.875	21.320	1.403
玉米	77	1.100	13.797	4.701
計	1.509	5.975	15.117	6.104
累計	1.509	7.484	32.601	48.705

笛倉一号橋の下部工を見ながら宿より大吹川までの悪路を視察し、いよいよ基幹林道の急坂を矢島側との接続点まで登り引かえして工事最中の県道を須郷境の峠まで視察、高

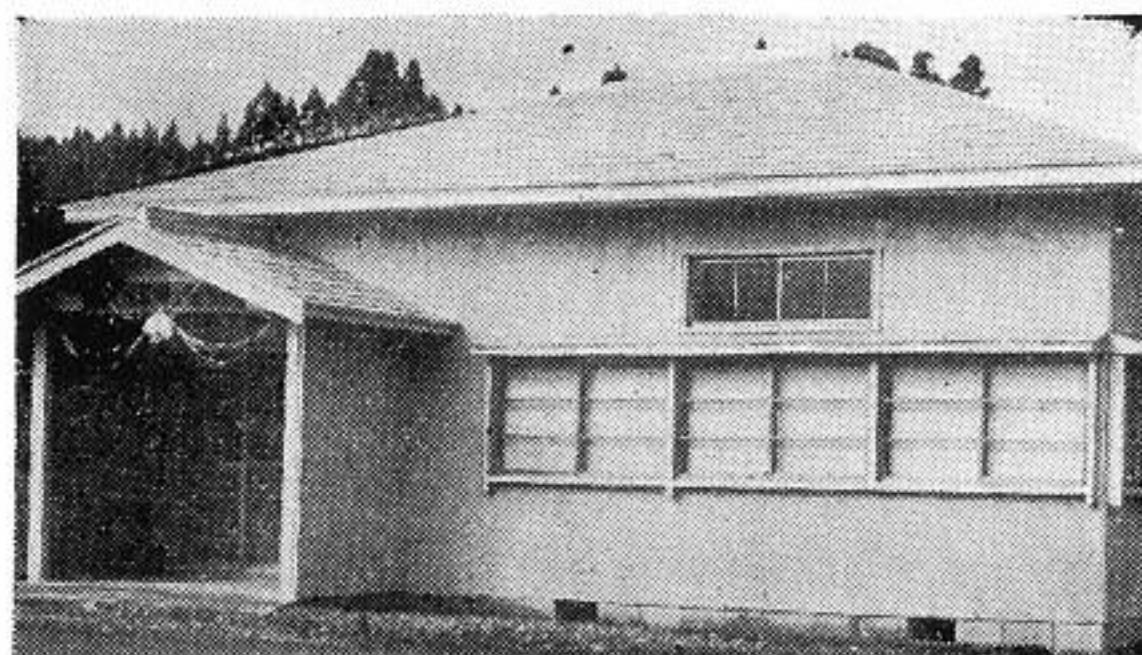
村に行って林道と作業中のなだれ防止工事を見た。

老方より湯出野通り完成した倉林道を視察したが、その見事な出来栄えには一同感嘆の声をあげ、智者鶴橋を見て今後の計画を聞き泡の淵より八塩ダムに至る重要村道のほぼ全路線の視察を終えた。

これは今後、村道路網の整備の参考とするものである。

# 遊園地も備えて ふたば児童館完工

地域児童の健全育成をはかるため総合的な地域活動の拠点となることを目的とする地域住民の熱意をもって建設中のふたば児童館（下小屋、高戸屋）が完工し、11月8日喜びの完工式が行われた。建物の外に附属の遊園地には、すべり台、遊動円木、ブランコなどの遊具も備えられ、今後地域児童の遊び場となり、子ども会その他児童の集団活動の場となり、児童の健全育成に、両部落の部落づくりの場として大いに活用されることで、地域の人々殊に子ども達から非常に喜ばれている。この施設は小倉児童館について二度目である。なお工事請負者は八日町佐藤徳市氏でその規模は木造平屋、22坪、工事費、児童館65万円（内訳、県補助30万、玉米財産区補助25万、部落負担10万）遊園地遊具工事費6万、内訳県補助3万、村費3万）



しています。

## 募集実施要領

- 1 募集人員、2等陸士約4,500名 2等海士約450名 2等空士約700名、計5,650名
- 2 応募資格、採用予定月現在で、18才以上25才未満の男子
- 3 試験科目、中学校卒業程度の学力について筆記試験、国語（作文を含む）数学、社会、身体検査、口述試験とする。
- 4 募集期間、11月1日から12月末日までとす。
- 5 採用予定期、2等陸士、11月および12月、2等海士、12月お

## 第3次自衛官募集

防衛庁では昭和39年度第3次陸海、空士を次の要領によって募集

## 開設期日

- 5・8 農業青少年育成協議会幹事会
- 5・20 農業青少年育成協議会
- 6・8 ハ幹事会
- 7・28 開講式、集合セミ①
- 7・13 集合セミ②
- 7・23 板戸セミ。7・25 新沢セミ
- 7・27 黒沢セミ。7・28 稲作林業
- 8・6 セミ指導員会議
- 8・9 集合セミ。8・19 林業セミ
- 8・25～26 新沢セミ
- 8・28 稲作、酪農、板戸セミ
- 9・10 移動研修（合同）
- 11・4～7 先進地酪農視察
- 11・12 酪農セミ（台山）
- 11・18 農業青少年育成協議会幹事会

## 反省評価、問題点

- ① 全体研究、4回26時間
- セミナー全体運営の調整をとるためにこの期間は全体研究を多くした。今後の課題の重点としては村の農業構造改善事業計画策定を機会に、事業に対する理解と関心をかためる。生産及び経営改善の基礎となる技術（能力）の普及～特に労働日記の完全記帳
- ② 稲作コース、5回、20時間
- 学級生が固定していないので学習をつづける上に難点がある。年度

- より40年1月、2等空士11月および12月
- 6 その他、初任給月額11,400円賞与年3回衣食住無料支給、実質給与月額20,000円に相当

半ばからの発足であったので、学習が小範囲に限られた。

今後の課題の重点は来年度の経営計画確定のための学習。播種成育期の管理技術の理論（来年度の安定増収ならびに現場の問題点をひき出し学習課題に結びつけるため③酪農コース、5回17時間）経験年数の少い学級生が大部分であるため、同一課題で学習を進めることができた。

経験年数の多い農家青年でも基礎的学習が不足しているので学級生の増加をはからなければならない

新沢部落、4回、21時間 従来より果樹栽培の経験があり着実に実行している。

栗栽培は全員に关心を持たせるため個別計画をたてさせる。

板戸部落、3回15時間 ずいぶん努力して来たが、今後は技術と資金の援助が必要だ。若い婦人層にしっかりした人達があるのでこれをよりどころにして部落振興の意識を高める。

黒沢部落 昭和34年農業振興特別指導部落の指定を受け、毎月1回集会を開き記帳を主とした学習会を行う。（効果）

① 経営の実態がはっきりしているので改善計画への移行がスムーズに出来る。

② 家族全員の協力によって記帳を進めている間に家族間の理解と協力態勢がよく出来た（これは部落全体の協力態勢にも共通）

○ 農機具の共用、畑作の共同育苗 今後の課題

① 経営改善計画の樹立

② 畑作の安定増収と消力化

③ 酪農振興

④ 生活（衣食住）改善

## 農業近代化セミナー

### 前半期のあゆみ

と考えられる。

スライドなどの利用により、繁殖生理、病理を含む進んだ技術、経営の全体的な学習を進め、経営基盤を確立するため粗飼料の確保についての検討を進める。

④ 林業コース、5回20時間

今まであった林業研究グループを主体としたので、新学級生には魅力がなさすぎたようだ。

討論と実習を主とした計画をたてるべきだ。

経営の実態をつかみ問題点を見出

志願用紙、志願案内書は役場に準備しております。志願場所等くわしいことは、役場の係におたずね下さい。

今月は  
国民健康保険税  
第3期分の納期

